

STUDENT INTERVIEW

福地 研介 (2012年02月入学)

養成講座修了後は即、
教壇に立てるほどの自信ができました

日本語教師を目指そうと思った理由

ずっと日本国内で仕事をしてきたのですが、それに物足りなさを感じていました。世界にはいろんな国があるのに、このまま日本に閉じこもっていいのかという思いを抱いていました。また東日本大震災もきっかけの一つです。台湾をはじめたくさんの方々が助けの手を差し伸べてくれたとき、傷ついた日本が立ち直るためには諸外国の力が絶対に必要だと痛感しました。いま日本に興味を持ってきている人たちに草の根レベルで日本語を教えることが、やがて日本を復興させる国力に変わると確信したからこそ、日本語教師を目指そうと思いました。

JALC を選んだ理由

もともと日本語教師という職業に多少の興味はありましたが、真剣には考えてはいませんでした。というのも、これとはまったく別の話になりますが、長期の海外旅行に行きたいと前から考えており、養成講座は日本にしかないと思っていたこともあり、同じ貯金を使うなら養成講座に通うよりそちらのほうがいいのではと思っていました。しかしネットで偶然 JALC のことを知り、オーストラリアでも日本語教師の養成講座に通えることがわかりました。海外に行きたいという希望と、日本国内の養成講座に通学するよりも総合的な費用が安いということが動機となり、JALC を選びました。

皆様へメッセージ

日本にはないおおらかな風土のもとで勉強するのは、間違いなく自分に新しい風を呼び込めます。たった十一週間の講座ですが、一日一日の授業内容がとても濃いですし、海外での生活も刺激に満ちているので、まるで何年もシドニーで暮らしているような感覚になります。課題の作成に追われて一睡もできない日が何度もありましたが、私はさいわい良い仲間にもぐまれ、みんなで団結して取り組めたので乗り越えることができました。いざ卒業してみれば、得られたものはとても大きく、睡眠不足なんて大したことなかったなと思えます(笑)。また JALC にはとても個性的な人がたくさん集まってくるので、とても楽しいです。もし来るのを迷っているなら思い切って一步を踏み出してください。世界があなたを待っていることに気づくはずですよ！

オーストラリアを選んだ理由

日本で英会話のレッスンに通っていましたが、それを海外で使う機会があまりありませんでした。折角英語を勉強してきたので、英語圏の国に行くことで、さらなる生きた英語の勉強につながるのではと思ったのと、日本国内の養成講座に通うよりも刺激的な生活が送れるかもしれないと考えたからです。実際四か月近くオーストラリアに住んでみて、日本に住んでいた頃には経験できなかった異文化体験をすることができました。また、旅行で来るのとはまた違った、そこに住む人々のライフスタイルも知ることができました。

授業内容について

前半は文法などの座学と模擬授業を中心に行いました。模擬授業は受講第一週からいきなり始まります。はじめは何も知らない状態から授業を作るような感じですが、何度も繰り返すうちにコツがつかめるようになります。クラスメイト同士で模擬授業の結果についてディスカッションし、みんなの意見を次の授業に取り入れて改良していくことで、自分が目指したい授業のスタイルがどんなものか、わかってくるのです。後半は自分が一年間クラスを持つことを想定したコースデザイン・カリキュラム作成や、実際に日本語を勉強している方々に前に 60 分授業をする教育実習などがあります。また、日本語教師に必要な国際感覚を身につけるための異文化研究などもあり、養成講座修了後は即、教壇に立てるほどの自信ができました。

卒業後の展望について

受講をはじめた頃は、あくまで日本語教師は進路の選択肢のひとつと考えていました。ですが卒業を控えるころにはその考えが変わりました。せっかく JALC の実践的な養成講座を受けたのですから、ブランクを空けず、すぐ教壇に立ちたいと思ったのです。さしあたっては日本に帰国し、別の仕事をしながら非常勤講師の仕事を副業でしたいと思います。そして資金と経験を積んだあと、一、二年以内には海外で日本語を教えたいです。